

# 古語大鑑

全 4 卷

〔編集委員会代表〕  
**築島 裕**  
〔編集委員〕  
峰岸 明／白藤禮幸  
坂梨隆三／沼本克明  
月本雅幸／山本真吾  
肥爪周二／矢田 勉

21世紀を代表する古語辞典  
待望の第3巻刊行!!

2026年  
2月上旬  
第3巻刊行!!

# 古語大鑑 全 4 卷

最新の学術研究の成果を十二分に盛り込み、  
従来の語釈や語源説を全面的に再検討した、  
比類なき、奥深い古語辞典。

## 本辞典の主な特色

- ◆ 日本の古典語の基本となる、奈良・平安・鎌倉時代の語彙約四万語を収録。
- ◆ 本当の古い言葉の姿を正しく見せるための工夫が随所に。
- ◆ 語の初見にあたる用例を提示。他の辞典にはない最古の用例を探索。
- ◆ 中国語由来の語には、その古い中国における用例も提示。
- ◆ 画期的な、漢語の日本語としての独自の意味・用法の提示。
- ◆ 類書にない「訓点資料」の日本語とその用例を数多く収録。
- ◆ 日本古典文学や日本史学に関連する事項も充実。

第1巻  
【あ～お】



2011年12月刊  
B5判/936頁  
本体38,000円+税

第2巻  
【か～さ】



2016年2月刊  
B5判/736頁  
本体42,000円+税

第3巻  
【し～て】



2026年2月刊行予定  
B5判/776頁  
本体48,000円+税

この辞典が完成した暁には、日本語の語彙に対する観念の改変が迫られること必定で、  
用例をもつばら「軟文学」から採集した従来の古語辞典とは  
違う世界が堂々と提示されていることを感じます。「UP」2012年5月号より抜粋  
—— 奥田勲(国文学)

国語学を軸にして、国文学・日本史学の成果を広く取り入れた本書は、  
まさに古語大鑑と称するにふさわしいものとなっている。「UP」2012年7月号より抜粋  
—— 五味文彦(日本中世史)

門外漢のものにとっても、楽しく読むことができ、  
古典をひもとくきっかけにもなる辞書だ。「UP」2012年8月号より抜粋  
—— 三浦しをん(作家)

訓読語を漢語原文と比較していくことで、  
誤読も含めて、先人が漢語仏典をどのように読み、理解しようとしていたかが如実に知られることになる。  
その手がかりとして、『古語大鑑』ほど有用なものはない。『UP』2012年9月号より抜粋  
—— 末木文美士(仏教学)

## 【注文書】

※最寄りの書店へお申し込みください。

【書店名】(取次番線)	古語大鑑 全4巻申し込みます	〔セット〕
	第1巻 【あ～お】 ISBN978-4-13-080005-1 本体38,000円+税 ▶既刊	〔冊〕
	第2巻 【か～さ】 ISBN978-4-13-080006-8 本体42,000円+税 ▶既刊	〔冊〕
	第3巻 【し～て】 ISBN978-4-13-080007-5 本体48,000円+税 ▶最新刊	〔冊〕
	第4巻 【と～ん】 ▶続刊	〔冊〕

【ご芳名】

【お電話番号】

【ご住所】

